

HIGHNESS GION 10th Anniversary Party

08/04/04 (fri)
adv 2.500-
door 3.000-
open 10:00

-DJ-
PRINCE-viva
TEDDY-highness
NAMIH-angels



公私ともに上田オーナーの盟友、DJ PRINCE こと「VIVA」のイチローさん。「助け合ってきた10年。僕も本当にうれしいっす」。今宵は上田オーナーに捧げるPOWER PLAY SOUNDをチューン!



「皆様に感謝したい」。言葉の端々に、上田オーナーと寸分と変わらぬスタンスを感じさせる登月店長。ハズデーイベントを間近に控え、今宵はDJ TOGEZとしても参戦



「HIGHNESS GION」常連さんのチツさんは、世界にたった一つだけのオリジナル着物で祝言に駆けつけた。「今日初めて着たんです。だって薄くんのためだもん(笑)」



生粋の京女 ORGANISE CREW「ANGELS」から、DJ NAMIH、MC POMERA。独自のHIP HOPサウンドとハスキーボイスでフロアを盛り上げる!



「上田オーナーの人生、生き方に惚れているんです!」。上田ぞっこんラブな宮川さんは、今宵を心待ちにしていたんだとか



荒神口のうどん屋「てんく」のおサムさん。上田さんってどんな人ですか? 「うへん、『煮込みうどん』でしょうか。いい味出しているんです〜」



デコレーターのマユチタさんは、たまたまお店に寄ったら、このイベントを聞き、駆けつけたとか。「たまたま花も持ってて、たまたまドレスも着てて…」なんとという偶然、何という縁!



「登月さんにフラれた女性たちで〜す」というユキ(左) & アサ(右)。必死で否定している登月さんがカメラの横におりました…。「HIGHNESS、10年オメデドー!」

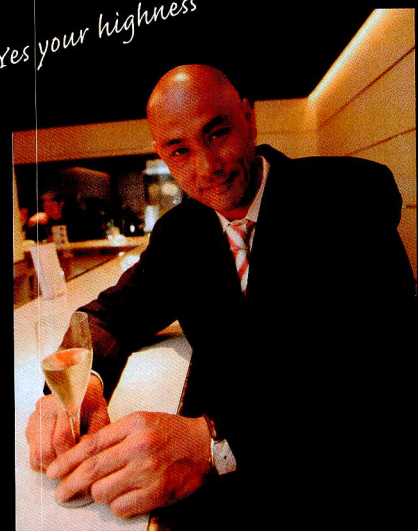
「閣下の前では皆、平等」 上田哲学、10年の節目

ここで祇園デビューした人も多いだろうし、ここで夜遊びを覚えた人も多いだろう。「HIGHNESS GION」が挑戦した祇園という敷居は、木屋町流、そして上田淳一オーナーの「Yes your highness」というスタンスによって、確実に下げられた。しかも、祇園で遊ぶというステータスは十二分に持ったまま。

芸能人、政治家、外国人、教授…さすが祇園な常連もいれば、バー通い、クラブ通いの街遊びの黒帯たちも、最後にはここに集まってくる。が、「僕の前に人種、宗教、政治は一切関係ない」と言い切れるのは、「接客しているようで、接客されてきた10年(笑)」の経験値の賜物だ。一貫した利用客と店の関係性を続けることが、誰よりも難しいことを知っているのは上田オーナーのだから。

あふれる祝言と祝花は満開の桜にも、生い茂る緑にも負けず劣らず。華開き続ける上田哲学は、10年後、20年後も変わることはあるまい。

Yes your highness



「得難い経験をできたのは、本当に皆様のおかげ。それは必ず書いといて」。本誌インタビューにも、今宵のイベントにも、その思いがあふれる。「10年、あっという間でしたね」。濃密だった10年間よりもっと濃い、次の10年にも期待させていただきます

HIGHNESS GION 10th Anniversary Party

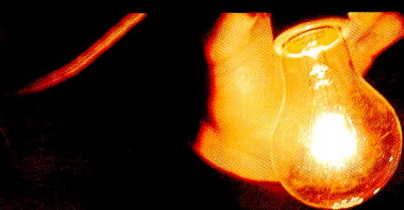
@club Sai

取材・文／松村奈央子 撮影／福森クニヒロ

LAB.TRIBE 3rd ANNIVERSARY SPECIAL vol.2 STONES THROW JAPAN TOUR in KYOTO

@LAB.TRIBE

いわゆる3年目 という集大成。 それがラジカルな



「生涯をかけてhip hopを世界に広めていくことを誇りに思う。ツアーでの旅を繰り返し、僕と同じものを好きでいてくれる人々に出逢うことは最高なんだ。京都の人は『本物』を知る人達だ」。映像と音楽のリンクが人々を酔わせたPeanut Butter Wolf

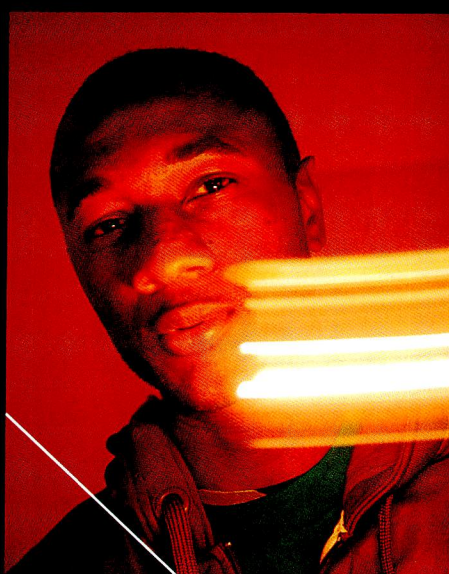
「すぐに消費され、忘れ去られてしまうような最近のエンターテインメントの現状で、これほど素晴らしいクラブがあることは大切にしなければいけない。ここでは1日が10年分くらい楽しめるんだ」。その後、強烈なDJプレイを披露。インテリジェンスな外見とは裏腹に、一気にフロアをヒートアップさせたEgon

音楽はおめでたい。まさにcelebrationなんだ。たくさんさんのsoulを揺さぶり続け、それはまるで旅を続けていくようだ。今夜、僕たちは一晩中、そのお祝いを続けるのさ」と、詩人な感じのコメントをくれたのは、日本初の出演となったAloe Blacc

京都のクラブシーン代表格と言えば、アソコとアソコと：そう！言わずと知れたA2000。なんて…そんな安物の広告コピーみたいな前置きはおいとご。LAB.TRIBEと言えば、アンチデイスコなハウスやテクノを中心に君臨し続けてきた京都の名バコなわけです。96年にオープンし、ある意味「京都の伝説」をつくり上げ、京都におけるクラブカルチャーの第3セクター的な立場を担ってきた。

フロア内でも独特の雰囲気を感じ出していたショウタさん。「LAB.TRIBEは知り合いがいるのでよく来る。LOVE&PEACE、ヨロシク」。ヒョウ柄パーカーを着こなすキャラにも脱帽ですが、やっぱりコメントも男前ですなあ

同世代の店長だからこそ、イイ意味での世代にしか出来ないような「愛」あるパライーを展開していきたい！。そう、



結果であれば... と、期待した夜 でしたが、いかに？



中学の同級生だというタカホさん(左)とナオさん。初めて京都のクラブに来た2人は「東京よりイケメンが多い！」とテンションアゲアゲ～なナイスギャル。ちなみにナオさんこの日がバースデーだったそう。いや～メデタイっすね

京都を代表するセレクトショップStavecationで勤務しているナイスガイなイケメン、クロダさん。「田中くんへ。投手戦を救ったのは僕のヒットです」。いや～店長ネタ満載ですね、みなさん。さすが人気者です



Peanut Butter Wolfの大ファンだというクリスさん(左)とアンディさん。シアトル出身なノリの良さはバツグンです。「nextly GO! GO! 次はM.F.Doamを呼んでください」とちゃっかりリクエストまで

アサチルさん(右)とマシロさんは「自称」ダンサー&敏腕マネージャー。真ん中は酔っぱらって入ってきたDJ CAZZさん。「タケシ、オメデトウbyアサチル」「ステキです。これからもヨロシクbyマシロ」、本当に愛されています



「Aloe Blaccを見に来ました」とはラミさん(左)とモロさんのOLカップル。日本初のAloe Blaccを見るために訪れただけあって、フロア内でもイイ感じで楽しんでました



京都ダンススタジオユニオンでインストラクターをしているMYUさん。いつもは出演者として来場されていることが多いそう。「いつもアツイevent開催してます♪ LAB.TRIBE LOVE♪」。そんなアナタにLOVEです



田中店長の同級生でLAB.TRIBEでもよくプレイしているDJタムラマサキさん。お祝いのメッセージは？「店長へ。ちゃんと学校は卒業してください」と一言。そうか店長、まだ学生だったんすね



どこかでお見かけたような...と思ったらJAPONICA MUSIC CAFEオーナーBOOさんとDJシンヤさん。「もうすぐMix出すから、DJLに来るよ」とシンヤさん。「同じ町内だね」とユル～イコメントはBOOさん。ザ・京都なノリに乾杯

和太鼓にBass、MPCにEffectでかーなりーダイナミックな音を奏でてくれたBreak Beats unit Inzoma。血湧き肉躍るパフォーマンスにガッツリとハートをわしづかみされました

クリストフ・メルとStones Throwのコラボアイテムを販売していたジェラルドさんと谷口さん。「藤井大丸店で8月末まで販売しているのではありません！」。お二人が着ているアイテムがソレ



「ホクは、また若いす(笑)。でも、若いからこそ先輩達には出来ないコトを、とんどん繰り広げていきたい。京都から世界へ発信していくこと、その発信源でありたい。テーマは「愛」ですから」とenjoyモード満載なコメント。この後、エエ感じにアガってはりました～

洋服、CD、スタジオとマルチにご活躍の有名人、ハイプロダクションレーベルの社長でもあるK.I.C.E 武神さんからコメント「音楽は宝だ。LAB.TRIBEは宝だ」。ハコとの繋がりが深いだけにリラックスしたハイブレーションでフロアを沸かせた



リアルな空間をつくり上げていけるのだと思う。期待していますよ！店長！
 そんな名バコ周年のゲストは誰ソ？というところ、アメリカを代表するインディーズレーベルであるStones Throwから、もはや「この人ハズしてモウ EOPは語れないでしょー」的存在であるPeanut Butter Wolf、Pharrell, M.C. シンガー、ミュージシャンとしてマルチな才能で活躍しつつも、初(そうだったんだ...)のジャパンツアーとなるAloe Blaccや敏腕マネージャーとしても活躍し、並はずれたDJプレイを展開するDJsなどの蒼々たるメンバーを招いていたくないような大興奮♪なオーラが漂う。フロアは通常の熱気ではない、独特の気だるさ&良い意味での身内な雰囲気にも包まれたアツクイ夜。そう、これぞ京都な夜なんだとしてみじみ体感。「愛」あるパレイイ、その具体性に今後大いに期待したい。